

教育普及に関わる活動報告

著者	寺島 洋子, 横山 佐紀, 酒井 敦子
雑誌名	国立西洋美術館年報
巻	41
ページ	38-44
発行年	2008-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1263/00000260/

教育普及に関わる活動報告

Report on Educational Programs

1) Fun with Collection ファン・ウィズ・コレクション

今年度は、「いろいろメガネPart 2—みんなの見かた紹介します」(詳細は「展覧会」参照)と題して、昨年度のプログラムの中で作った作品や、集まった来館者による多様な作品の見かた、感じかたを紹介し、さらに所蔵作品のいろいろな楽しみかたを体験するプログラムを実施した。

「あなたがつづるこの1点」

2005年に募集して集まったエッセイ433点を小冊子にまとめ、常設展示室の休憩椅子で来館者が自由に読めるよう設置した。また、その中から各審査員がそれぞれに選んだエッセイ(合計30点)は、パネルにして展示室の作品横に掲示、さらに当館のホームページで紹介した。

公開発表:当館常設展示室とホームページ(2006年1月-8月)
審査員:内館牧子(脚本家)/みうらじゅん(イラストレーター)/青柳正規(当館館長)

「君はどこ?—クイズに挑戦」

「君の名は?」で集まった題名を手がかりに作品を探すクイズ。ひとつの作品に付けられた3つの異なる題名をヒントにその作品を展示室から探し出し、正解すると絵葉書がプレゼントされた。

実施期間:2006年6月-8月
場所:常設展示室内

「即興歌人—思いを言葉に!」

絵や彫刻を見て感じた気持ちを、短歌で表現するプログラム。短歌の詠みかたのレクチャーを受けたあと、展示室に出て作品を選んで短歌を作った。

講師:篠 弘(現代歌人協会理事長)
日時:7月29日(土) 13:00-17:30
対象・参加者数:一般/34名
参加費:無料

「セイビ探偵団が行く!—美術館からの挑戦状~“わたしを探して”」

国立西洋美術館に関する謎を解いてキーワードを手に入れて、作品を探し出すゲーム。

進行:ゴウヤスノリ(ワークショップ・プランナー)
日時:8月3日(木) 13:30-16:30
対象・参加者:小学生/12名
参加費:無料

「上野で、パラシュートとマキオ—空から降るメッセージ」

好きな絵や彫刻を見て感じたことを手紙に書き、パラシュートにつけて屋上から飛ばしてメッセージを交換するプログラム。

進行:磯崎道佳(美術家)
日時:8月5日(土)、6日(日) 13:30-16:30
対象・参加者:子どもから大人まで/43名
参加費:無料

「美術館でおどる、心もおどる!」

作品を見て感じたことや、作品そのものを体を使って表現するプログラム。

進行:早川朋子(振付家)
日時:8月10日(木) 午前=10:00-12:30 午後=14:00-16:30

対象・参加者:午前=小学校3・4年生 8名/午後=小学校5・6年生 15名
参加費:無料

「続・日曜日の美術館—私のメガネで見えます?」

各界から様々な講師を迎え、各々の専門や興味を視点に美術作品の見かた、楽しみ方を紹介するレクチャー・シリーズ。

時間・場所:14:00-15:30 講堂
対象・参加費:一般/無料

6月4日(日) 参加者:110名

「時を駆ける美術鑑賞—『美しい』を見直そう」
森村泰昌(美術家)

6月18日(日) 参加者:55名

「美術は僕の栄養源」
高木康政(パティシエ/ショコラティエ)

7月30日(日) 参加者:67名

「知りたい。ロダン彫刻のこと、ブロンズ鑄造のこと」
大屋美那(当館主任研究員)

2) 特別展関連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

■講演会

時間・場所:14:00-15:30 講堂
対象・参加費:一般/無料

「ロダンとカリエール」

4月15日(土) 参加者:90名
「ロダン、カリエールと同時代の文化・社会」
小倉孝誠(慶應義塾大学教授)

5月20日(土) 参加者:107名
「1890年代のロダンとカリエール」
大屋美那(当館主任研究員)

「ベルギー王立美術館展」

9月23日(土) 参加者:152名
「ルネサンス期フランドルの都市文化:ブリュージュからアントワープへ」
河原 温(首都大学東京助教授)

10月7日(土) 参加者:152名
「初期フランドル絵画の世界」
荒木成子(清泉女子大学教授)

10月21日(土) 参加者:134名
「イカロスのゆくえ:ブリュージュ・オア・ノット・ブリュージュ」
幸福 輝(当館上席研究員)

11月4日(土) 参加者:107名
「画家たちの競演:ルーベンスの時代のアントワープの絵画」
中村俊春(京都大学教授)

11月18日(土) 参加者:100名
「ベルギー象徴派の時代」
福満葉子(長崎県美術館学芸員)

[イタリア・ルネサンスの版画——ルネサンス美術を広めたニュー・メディア]

2007年3月17日(土) 参加者:55名
「ルネサンスの版画と装飾文様をめぐって」
吉澤京子(跡見学園女子大学教授)

2007年3月31日(土) 参加者:82名
「ルネサンス美術の規範と版画——マンテーニャを中心として」
渡辺晋輔(当館研究員)

■ギャラリートーク・スライドトーク

時間・場所:18:00-18:40 展示室あるいは講堂
対象・参加費:一般/無料ただし展覧会観覧券が必要

[ロダンとカリエール]

2006年4月7日(金)・21日(金)、5月12日(金)・26日(金)
スライドトーク:近藤真彰(駒澤大学非常勤講師)
参加者:計146名

[ベルギー王立美術館展]

2006年9月29日(金)、10月13日(金)・27日(金)、11月10日(金)・24日(金)
スライドトーク:廣川暁生(ベルギー王立美術館展アシスタント・キュレーター)
参加者:計514名

[イタリア・ルネサンスの版画]

2007年3月23日(金)・30日(金)
スライドトーク:小林明子(慶應義塾大学大学院)
参加者:計44名

■コンサート

「音楽における現実の幻視者——ドビュッシーとショーン」
カリエールと交流があり、カリエールによる肖像画が残されているショーンと、ショーンと友人関係にあったドビュッシーを取り上げ、ロダンとカリエールと同時代の音楽を再現した。

日時:2006年5月3日(水) 18:00-20:00(17:30開場)
場所:企画展示ロビー(B2F)
企画・トーク:瀧井敬子(東京藝術大学演奏芸術センター助手)
照明:海藤春樹
演奏:ジュラル・ブーレ(ヴァイオリン)、川島余理(ピアノ)、王真紀(メゾ・ソプラノ)、坂上賀奈子(メゾ・ソプラノ)、吉原教夫(テノール)
朗読:斉藤由織
制作アシスタント:酒井千亜希
対象・参加者:一般・100名
チケット:1500円

3) ファミリープログラム

ファミリープログラムは、常設展が無料観覧となる各月の第二・第四土曜日に行なわれる。常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつる」の無料貸与と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どようびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

■びじゅつる

美術のことをよく知らない、また美術館が初めてという家族を対象に作られたツールで、常設展にある絵や彫刻を、いろいろな方法で楽しむための道具やゲームなどが盛り込まれている。今年は5種類のツールを貸し出した。

対象:6-10歳の子どもと同伴の大人



貸出日:2006年4月8日(土)・22日(土)、5月13日(土)・27日(土)、9月9日(土)・23日(土)、10月14日(土)・28日(土)、11月11日(土)・25日(土)、2007年3月10日(土)・24日(土)
時間:10:00-17:00(随時)
利用者:計678名

■どようびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった申込制プログラム。
今年度は、2種類のプログラムを実施した。

「なぞ☆謎☆びじゅつかん」

常設展示室の作品を家族でクイズを解きながら見る。最後に参加者全員でいっしょに見たジャクソン・ポロック《ナンバー8、黒い流れ》の描き方をヒントに絵を描いた(内容は8回とも同じ)。

対象:6-10歳の子どもと同伴の大人
日時:2006年7月8日(土)・22日(土)、8月12日(土)・26日(土)
午前10:30-12:30/午後14:00-16:00
参加者数:計106名

「ごきげんいかが?(^0^)(^0^)(^0^)」

絵や彫刻で表現された人物の気持ちに着目するプログラム。ワークシートを使って家族で作品を見た後、丸い画用紙に参加者それぞれの表情で顔を作った(内容は8回とも同じ)。

対象:6-10歳の子どもと同伴の大人
日時:2007年1月13日(土)・27日(土)、2月10日(土)・24日(土)
午前10:30-12:30/午後14:00-16:00
参加者数:計152名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

2006年度:2165名(69件)

未就学児童=40名(2件)、家族=72名(3件)、小学生=1305名(27件)、
中学生=418名(18件)、高校生以上=330名(19件)

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説で教育普及室が実施している。

2006年度:1554名(17件)

小学生=343名(4件)、中学生=960名(7件)、高校生以上=351名(6件)

■職場訪問

修学旅行あるいは総合学習の一環としてグループで来館する生徒を対象に、教育普及室が対応している。

2006年度:142名(23件)

中学生=83名(18件)、高校生以上=59名(5件)

■先生のための観賞プログラム

特別展ごとに小・中・高等学校の教員を対象に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が講堂で行なう解説。

[ベルギー王立美術館展]

日時:9月22日(金) 18:00-18:40

講師:幸福 輝(当館上席研究員)

参加者:108名

[イタリア・ルネサンスの版画——ルネサンス美術を広めたニュー・メディア]

日時:2007年3月16日(金) 18:00-18:40

講師:渡辺晋輔(当館研究員)

参加者:82名

■夏期教員研修

武蔵野市小中学校美術研究会研修会

日時:7月24日(月) 10:00-16:00 参加者:13名

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、グループに分かれてギャラリートーク案を作成して発表した。最後に、鑑賞の意味についてディスカッションを行なった。

杉並区の中学校教員研修会

日時:8月25日(金) 10:00-17:00 参加者:29名

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、グループに分かれて鑑賞の授業案を作成して発表した。最後に、鑑賞の意味についてディスカッションを行なった。

東京都国画工作研究会/東京国立近代美術館/国立西洋美術館合同研修会

日時:8月28日(月) 9:00-17:00 参加者:53名

2点の作品を自らの目でじっくり鑑賞した後に、台東区立金竜小学校の5年生に行なったギャラリートークを見学して自らの体験と比較した。その後、見学したトークの感想、鑑賞の意味やあり方についてディスカッションを行なった。

5) ボランティア

当館では、2004年にボランティア制度を立ち上げ、その年の後半から活動を開始した。18名('06年現在)のボランティア・スタッフは、ファミリープログラムとスクール・ギャラリートークを中心に活動を行っている。また、活動に必要な知識や技術を身につけるため、年間を通じて随時研修にも参加している。

■2006年度の活動内容

①ファミリープログラム(ファミリープログラム欄参照)

- ・びじゅつー:当館にて作成されたファミリー向け鑑賞用教材「びじゅつー」貸出受付。
- ・どうびじゅつ:体験型プログラム「どうびじゅつ」におけるトークおよび創作などの補助。有志による企画。

②スクール・ギャラリートーク(学校関連プログラム欄参照)

学校の児童生徒向け対話型トークの実施。

③その他

- ・Fun with Collection 2006「いろいろメガネPart 2——みんなの見かた紹介します」のプログラム補助(Fun with Collection欄参照)
- ・1月2日に行なわれた「～美術館・博物館へ行こう～ A Day in the Museum」での一般に向けたギャラリートーク

■2006年度の研修

①4月20日(木)「ギャラリートークについて」寺島洋子(当館主任研究員)

②6月1日(木) どうびじゅつ「なぞ☆謎☆びじゅつかん」模擬練習

③9月7日(木) どうびじゅつ、スクール・ギャラリートークの振り返り

④9月30日(木) 例会:今後の活動について

「美術館における幼児を対象としたプログラム実践の意義と方法」有馬知江美(作新学院大学助教授)

⑤12月7日(木) どうびじゅつ「ごきげんいかが? (^0^)(^0^)(>_<)」模擬練習

⑥3月1日(木) 例会:来年度の連絡調整係選出 今後の活動について 「成人向けのトークについて」寺島洋子(当館主任研究員)

⑦3月19日(月) 防災訓練

*ギャラリートークの評価 全7回

2006年7月6日(木)、11月7日(火)2回・24日(金)、12月19日(火)・20日(水)、2007年2月2日(金)

6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれて様々な業務に実際に携わる。

[教育普及室]

インターン:大塚梓、片多祐子、弘中智子、宮原ゆうき、山口敦子

期間:2006年4月1日-9月30日

指導:寺島洋子・酒井敦子・横山佐紀

内容:①はじめてガイド(小・中学生対象の常設展ガイド)の改善調査と中学生用ガイドの作成

*詳細は、「2006年度インターンシップ報告書」参照

②Fun with CollectionいろいろメガネPart 2 関連プログラムの補助

[絵画・彫刻・版画素描室]

インターン:横井麻子

期間:2006年4月1日-2007年3月31日

指導:高橋明也

内容:所蔵作品(絵画・彫刻・素描)の美術史的研究、所蔵品カタログ編纂のための資料収集補助

インターン:古川法子
期間:2006年4月1日-9月30日
指導:高橋明也
内容:コロ展補佐

インターン:高木麻紀子
期間:2006年4月1日-9月30日
指導:幸福輝
内容:ベルギー王立美術館展補佐

インターン:芦刈歩
期間:2006年10月1日-2007年3月31日
指導:幸福輝
内容:所蔵作品(絵画・彫刻・素描)の美術史的研究、所蔵品カタログ編纂のための資料収集補佐

インターン:正路佐知子
期間:2006年4月1日-2007年3月31日
指導:佐藤直樹
内容:ムンク展およびハンマースホイ展補佐

7) 他組織との連携

■東京都立飛鳥高等学校・大泉桜高等学校課外授業への協力
日時:7月14日(金)・30日(日)、8月11日(金)・22日(火)、10月13日(金)
合計10時間
内容:国立西洋美術館おすすめガイドの作成
参加者:8名

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻の教育・研究における連携・協力
期間:2006年4月1日-2007年3月31日
内容:文化資源学研究専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

8) 出版物

■展覧会カタログ(*展覧会の欄参照)

■展覧会作品リスト

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト

[ベルギー王立美術館展] A4(2頁)

[イタリア・ルネサンスの版画——ルネサンス美術を広めたニュー・メディア] B5(4頁)

■ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[ベルギー王立美術館展] B4(四つ折り)

[イタリア・ルネサンスの版画——ルネサンス美術を広めたニュー・メディア] B4(四つ折り)

■ゼフュロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊(年4回)のニュースレター。

2006年度:No.27-No.30 A3(三つ折り)

(寺島洋子・横山佐紀・酒井敦子)

1) Fun with Collection

The Fun with Collection program this year was entitled *Various Colored Eyeglasses Part 2: Introducing Everyone's Different Ways of Seeing* (See Exhibition report for details). The essays and works created in the 2005 programs and their records, which all fully conveyed program participants ways of seeing and enjoying the museum collections, were displayed in the permanent collection galleries. Also some programs were conducted that encouraged participants to exchange their viewpoints.

"Write about Your Special Art Work"

All 433 of the essays submitted in 2005 were printed in a small pamphlet, and copies of the pamphlets were placed on the rest benches in the Permanent Collection Galleries, allowing visitors a chance to freely enjoy these interesting texts. Judges chose 30 essays which were displayed on panels near the art works involved and were also posted on the museum's website.

Publication: Permanent Collection Gallery and NMWA website from January through August 2006

Judges: Makiko Uchidate (Playwright), Jun Miura (Illustrator), Masanori Aoyagi (Director-General, National Museum of Western Art)

"Where Are You? - Let's Try Some Quizzes!"

This is a game to find the right artwork using clues which were collected in the 2005 program titled "What Is Your Name? - You Become the Titrer of Art Works". Taking three different titles made for a single artwork, participants had to locate that artwork in the galleries. Successful answers earned the participant a picture postcard of the artwork.

June 1 - August 31, 2006

Permanent Collection Gallery

"Impromptu Poets: Giving Words to Thoughts!"

This program had participants write Japanese *tanka* poems, about their feelings when they see a painting or sculpture. Lectures were given on how to read *tanka* poems, and participants then went to the galleries to select art works and create their own poems.

July 29 (Sat.) 13:00 - 17:30

Lecturer: Hiroshi Shino (Chairperson, Contemporary Tanka Poet Society)

Participants: 34

Free of charge

The NMWA Kids Detective Company on the Trail: Challenges on "Finding Paintings"

By solving puzzles about the NMWA, participants received clues that led them to find the right paintings in the collection galleries.

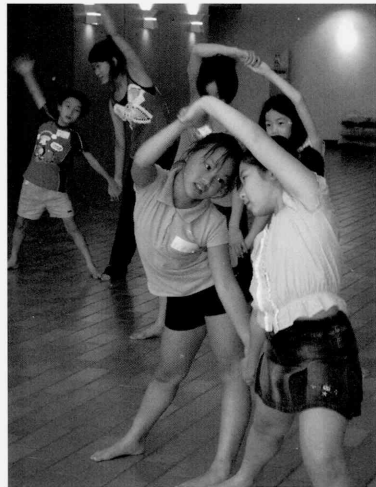
August 3 (Thu.) 13:30 - 16:30

Facilitator: Yasunori Gou (Workshop Planner)

Target: 7-12 year-olds

Participants: 12

Free of charge



"Parachutes and *Makio*: Messages from the Sky"

Participants wrote on sheets of paper about their feelings on the paintings and sculptures they liked, and then those sheets were attached to parachutes and dropped from the museum roof.

August 5 (Sat.) and 6 (Sun.) 13:30 - 16:30

Facilitator: Michiyoshi Isozaki (Artist)

Participants: 43

Free of charge

"Dance in the Museum, and Hearts Dance Too!"

Participants used their bodies to express their feelings about a painting "The Temptation of St. Anthony."

August 10 (Thu.) 10:00 - 12:30 / 14:00 - 16:30

Facilitator: Tomoko Hayakawa (Choreographer)

Target: 9 and 10 year-olds / 11 and 12 year-olds

Participants: 8 / 15

Free of charge

"Sunday Art Museum Part 2: Want to Look through My Eyeglasses?"

This lecture series by specialists from a wide range of fields featured each lecturer's look at art works from their own particular professional or personal vantage point.

14:00 - 15:30, Lecture Hall, Target: Over the age of 16, Free of charge

June 4 (Sun.) Participants: 110

"A Variety of Art Viewings: Reconsidering 'Beauty'"

Yasumasa Morimura (Artist)

June 18 (Sun.) Participants: 55

"Art Is My Nutritional Source"

Yasumasa Takagi (Patisserie/Chocolatier)

July 30 (Sun.) Participants: 65

"I Want to Know More. About Rodin's Sculptures. About Bronze Casting."

Mina Oya (Curator, National Museum of Western Art)

2) Programs Related to Special Exhibitions

■ Lectures

Related to the exhibition "Rodin and Carrière"

14:00 - 15:30, Lecture Hall, Free of charge

April 15 (Sat.) Participants: 90

"Rodin and Carrière: Literature of the Time"

Kosei Ogura (Professor, Keio University)

May 20 (Sat.) Participants: 107

"Rodin and Carrière in 1890s"

Mina Oya (Curator, National Museum of Western Art)

Related to the exhibition "Royal Museums of Fine Arts of Belgium"

14:00 - 15:30, Lecture Hall, Free of charge

September 23 (Sat.) Participants: 152

"Renaissance Urban Culture in Flanders: From Bruges to Antwerp"

Atsushi Kawahara (Associate Professor, Tokyo Metropolitan University)

October 7 (Sat.) Participants: 152

"The World of Early Flemish Painting"

Shigeko Araki (Professor, Seisen University)

October 21 (Sat.) Participants: 134

"Placing *Icarus*: Bruegel or not Bruegel?"

Akira Kofuku (Senior Curator, National Museum of Western Art)

November 4 (Sat.) Participants: 107

"Contests between Painters: The Paintings of Antwerp during the Age of Rubens"

Toshiharu Nakamura (Professor, Kyoto University)

November 18 (Sat.) Participants: 100

"Belgium's Surrealist Period"

Yoko Fukumitsu (Chief Curator, Nagasaki Prefectural Art Museum)

Related to the exhibition "Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

14:00 - 15:30, Lecture Hall, Free of charge

March 17 (Sat.) Participants: 55

"Prints and the Decorative Style"

Kyoko Yoshizawa (Professor, Atomi University)

March 31 (Sat.) Participants: 82

"Canons of Italian Renaissance Art and Prints: Focusing on Mantegna"

Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art)

■ Gallery Talk

Related to the exhibition "Rodin and Carrière"

18:00 - 18:40, Lecture Hall, Admission free

April 7 (Fri.), 21 (Fri.), May 12 (Fri.), 26 (Fri.)

Speaker: Mahori Kondo (Komazawa University, lecturer)

Total participants: 146

Related to the exhibition "Royal Museums of Fine Arts of Belgium"

18:00 - 18:40, Lecture Hall, Admission free

September 29 (Fri.), October 13 (Fri.), 27 (Fri.), November 10 (Fri.), 24 (Fri.)

Speaker: Aki Hirokawa (Assistant curator of the exhibition)

Total participants: 514

Related to the exhibition "Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

18:00 - 18:40, Lecture Hall, Admission free

March 23 (Fri.), 30 (Fri.)

Speaker: Akiko Kobayashi (Graduate School of Keio University)

Total participants: 44

■ Concert

Related to the exhibition "Rodin and Carrière"

"Envisioning Reality in Music - Debussy and Chausson"

Chausson interacted with Carrière and his portrait by Carrière remains. Similarly Debussy was a friend of Chausson's. This program presented music from the period of Rodin and Carrière.

May 3 (Wed.) 18:00 - 20:00, Lobby of Special Exhibition Gallery

Organizer and Lecturer: Keiko Takii (Tokyo National University of Fine Arts and Music)

Assistant: Chiaki Sakai

Lighting Designer: Haruki Kaito

Musicians: Gérard Poulet (Violin), Yori Kawashima (Piano), Maki O (Soprano), Kanako Sakagami (Mezzo soprano), Norio Yoshiwara (Tenor)

Tickets: 1,500 yen

Participants: 100

3) Family Program

The Family Program is a free program held on the 2nd and 4th Saturdays of every month, aimed at children aged 6 to 10 and accompanying adults. Two different programs "Biju-tool" and "Doyo Bijutsu" (Saturday art workshop), are conducted by members of the Education Department staff and Volunteer Staff members.

■ Biju-tool

Biju-tool kit is a viewing aid for novice visitors, specially those families with children aged 6 to 10. It includes tools and games to help them to enjoy art works in the Museum Collection Galleries. Five types of kits were lent to families this year.

April 8 (Sat.), 22 (Sat.), May 13 (Sat.), 27 (Sat.), September 9 (Sat.), 23 (Sat.), October 14 (Sat.), 28 (Sat.), November 11 (Sat.), 25 (Sat.), 2006 / March 10 (Sat.), 24 (Sat.), 2007

10:00 - 17:00, Museum Collection Galleries, Free of charge

Total borrowers: 678

■ Doyo Bijutsu (Saturday art workshop)

This program consists of art appreciation in the Museum Collection Galleries and creative activities in the workshop room. Two programs were run during this fiscal year.

Puzzle - Puzzle - Museum

Families answered quiz questions as they viewed the Permanent Collection Galleries. Finally all participants gathered to look at the Jackson Pollack work "*Number 8, 1951, Black Flowing*" and painted their own works, taking hints from Pollack's methods. (The same program was repeated 8 times.)

July 8 (Sat.), 22 (Sat.), August 12 (Sat.), 26 (Sat.), 2006

10:30 - 12:30 / 14:00 - 16:00

Museum Collection Galleries, Free of charge

Total participants: 106

How Are You Feeling? (^0^)(^0^)(>_<)

This program focused on the feelings of the people depicted in various paintings and sculptures. Using a worksheet, families viewed the art works and then they created various looks on the faces with round sheets of paper. (Same program repeated 8 times.)

January 13 (Sat.), 27 (Sat.), February 10 (Sat.), 24 (Sat.), 2007

10:30 - 12:30 / 14:00 - 16:00

Museum Collection Galleries, Free of charge

Total participants: 152

4) School Program

■School Gallery Talk

This program by reservation only involved group tours of the Museum Collection Galleries, led primarily by Volunteer Staff members.

Participants:

Under age of 6: 40 (2 groups)

Family: 72 (3 groups)

Primary School (aged 7 to 12): 1,305 (27 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 418 (18 groups)

Over age of 16: 330 (19 groups)

Total: 2,165 (69 groups)

■School Slide Talk

This program requiring reservations involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Museum Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the lecture hall.

Participants:

Primary School (aged 7 to 12): 343 (4 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 960 (7 groups)

Over age of 16: 351 (6 groups)

Total: 1554 (17 groups)

■Museum Visit for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education Staff members guided these groups, and provided various information regarding a curator's job, art works, and the art museum itself.

Participants:

Junior High School (aged 13 to 15): 83 (18 groups)

Over age of 16: 59 (5 groups)

Total: 142 (23 groups)

■Teachers' Program

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers. The program includes a brief overview of the exhibition's contents, discussion of a few works on display and free entry to the exhibition.

Related to the exhibition "Royal Museums of Fine Arts of Belgium"

September 22 (Fri.), 18:00 - 18:40, Lecture Hall, Free of charge

Lecturer: Akira Kofuku (Senior Curator, National Museum of Western Art)

Participants: 108

Related to the exhibition "Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

March 16 (Fri.), 18:00 - 18:40, Lecture Hall, Free of charge

Lecturer: Shinsuke Watanabe (Curator, National Museum of Western Art)

Participants: 82

■Teachers' Summer Seminar

July 24 (Mon.), 10:00 - 16:00, Free of charge

After carefully looking at two art works the group broke into small groups and planned and presented their ideas for gallery talks about those works. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.

Organized with Musashino City Study Group of Primary School and Junior High School Teachers

Participants: 13

August 25 (Fri.), 10:00 - 17:00, Free of charge

After carefully looking at two art works the group then broke into small groups and planned and presented their ideas for school lessons about art appreciation. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.

Organized with Junior High School Teachers of Sugunami Ward

Participants: 29

August 28 (Mon.), 9:00 - 17:00, Free of charge

After carefully looking at two art works the participants saw the gallery talks to the fifth graders of the Kinryu Primary School to compare their looking experiences with those of the pupils. A discussion was then held about the meaning of viewing and appreciating art works.

Organized with Tozuken and the National Museum of Modern Art

Participants: 53

5) Volunteer Activities

A Volunteer Program was established at the NMWA in 2004 and this program began operating in the latter half of 2004. As of 2006, there were 18 volunteer staff members, and their activities have centered on Family Program and School Gallery Talk events. These volunteers also participate in training sessions held throughout the year in order to acquire the knowledge and techniques necessary for their activities at the museum.

■Activities

1) Family Program (See "3) Family Program")

• Biju-tool: Loan service of the Biju-tool kits.

• Doyo Bijutsu: Art appreciation and Studio work. Program planning.

2) School Gallery Talk (See "4) School Program")

3) Others

• Assistance for the programs of Fun with Collection 2006 "Various Colored Eyeglasses Part 2: Introducing Everyone's Different Ways of Seeing" (See "Fun with Collection")

• Gallery talks for "A Day in the Museum" (January 2, 2007)

■Training and Meeting

1) April 20 (Thu.) Lecture "On Gallery Talks" Yoko Terashima (Educator, National Museum of Western Art)

2) June 1 (Thu.) Trial of Doyo Bijutsu program "Puzzle - Puzzle - Museum"

3) September 7 (Thu.) Review Doyo Bijutsu program and School Gallery Talk

4) September 30 (Thu.) Regular meeting
Lecture "On the Significance and Methods for Infant Programs in Art Museums?" Chiemi Arima (Associate Professor, Sakushin Gakuin University)

5) December 7 (Thu.) Trial of Doyo Bijutsu program "How Are You Feeling? (^0^)(^0^)(>_<)"

6) March 1 (Thu.) Regular meeting
Lecture "On Gallery Talks for Adults" Yoko Terashima (Educator, National Museum of Western Art)

7) March 19 (Thu.) Training for Disaster Prevention

Review of the School Gallery Talk

July 6 (Thu.), November 7 (Tue.), 24 (Fri.), December 19 (Tue.), 20 (Wed.), 2006 / February 2 (Fri.), 2007

6) Internship

As part of its mission of developing human resources in areas related to western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum's activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

■Education

Interns: Azusa Otsuka, Yuko Katada, Satoko Hironaka, Yuki Miyahara, Atsuko Yamaguchi

Term: April 1 - September 30, 2006

Supervisors: Yoko Terashima, Atsuko Sakai, Saki Yokoyama

Training Program: 1. Research for Improving the Junior Guide for Museum Collection Galleries and making a proposal for a guide targeting junior high school students
2. Assistance for programs related to Fun with Collection 2006 "Various Colored Eyeglasses Part 2 - Introducing Everyone's Different Ways of Seeing" (See "Fun with Collection")

■Curatorial

Intern: Asako Yokoi

Term: April 1, 2006 - March 31, 2007

Supervisor: Akiya Takahashi

Training Program: Assistance for collecting resource materials of the museum collections.

Intern: Noriko Furukawa

Term: April 1 - September 30, 2006

Supervisor: Akiya Takahashi

Training Program: Assistance for planning the Corot exhibition.

Intern: Makiko Takagi

Term: April 1 - September 30, 2006

Supervisor: Akira Kofuku

Training Program: Assistance for planning the exhibition "Royal Museums of Fine Arts of Belgium".

Intern: Ayumi Ashikari

Term: April 1, 2006 - March 31, 2007

Supervisor: Akira Kofuku

Training Program: Assistance for collecting resource materials of the museum collections.

Intern: Sachiko Shoji

Term: April 1, 2006 - March 31, 2007

Supervisor: Naoki Sato

Training Program: Assistance for planning the exhibitions "Munch" and "Vilhelm Hammershoi".

7) Cooperation with Other Institutions

■Off-campus Course for the Tokyo Metropolitan Asuka and Oizumi Sakura Senior High Schools

July 14 (Fri.), 30 (Sun.), August 11 (Fri.), 22 (Tue.), October 13 (Fri.),
Total 10 hours

Making an Introductory Guide to the National Museum of Western Art

Participants: 8 (aged 16 to 18)

■Cooperation with Graduate School of Humanities and Sociology, the University of Tokyo

Term: April 1, 2006 - March 31, 2007

This program sought to further deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in this program and carry out mutual exchange on research and education.

8) Publications

■Exhibition brochures

"Royal Museums of Fine Arts of Belgium"

"Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

■Junior Passports

Exhibition guide for primary school and junior high school students

"Royal Museums of Fine Arts of Belgium"

"Italian Renaissance Prints: from the Swiss Federal Institute of Technology Zurich"

■Zephyros

NMWA Newsletter, No.27 - No.30

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Atsuko Sakai)